

ソフトウェアテストといえば

SHIFT

2017年8月期
第4四半期及び通期
決算説明会資料

株式会社SHIFT(証券コード:3697)

2017年 10月11日

AGENDA

1. 決算概要
2. FY2018業績目標
3. 成長戦略の進捗
4. 中期計画

1. 決算概要

1. 決算概要

<p>FY2017 事業方針</p>	<p>中期成長戦略[SHIFT' 100]のもと、更なる事業規模拡大に備え、成長を支える企業基盤の強化と、業界における確固たる地位の確立に向けたドラスティックな先行投資活動を推進</p>																															
<p>FY 2017 4Q 及び 通期</p>	<p>決算概要</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">(百万円)</th> <th colspan="2">第4四半期</th> <th colspan="3">FY2017通期</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>前年同期比</th> <th>実績</th> <th>前年比</th> <th>対公表比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>2,509</td> <td>68.1%</td> <td>8,174</td> <td>48.3%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>738</td> <td>66.8%</td> <td>2,279</td> <td>34.5%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>264</td> <td>94.3%</td> <td>391</td> <td>△24.4%</td> <td>72%</td> </tr> </tbody> </table>	(百万円)	第4四半期		FY2017通期			実績	前年同期比	実績	前年比	対公表比	売上高	2,509	68.1%	8,174	48.3%	1%	売上総利益	738	66.8%	2,279	34.5%	-	営業利益	264	94.3%	391	△24.4%	72%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利益を意識した体制の構築が進む ■ グループシナジー向上も貢献し、営業利益、経常利益を予算から上方修正 ■ 人材獲得への投資により、営業利益は前年を下回るが、下期より投資回収が始まる
	(百万円)	第4四半期		FY2017通期																												
		実績	前年同期比	実績	前年比	対公表比																										
売上高	2,509	68.1%	8,174	48.3%	1%																											
売上総利益	738	66.8%	2,279	34.5%	-																											
営業利益	264	94.3%	391	△24.4%	72%																											
<p>事業概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 注力領域での大手企業への参画と、グループシナジーにより広くサービス展開が進む <ul style="list-style-type: none"> □ エンタープライズ領域は、WEB系やアプリ系などの既存顧客が堅調に拡大しつつも、当期注力領域である金融・流通領域における大手主要企業との取引が本格化し始め、当社売上高に占めるシェアが拡大 □ エンターテインメント領域は、引き続きソーシャルゲームなど中心に堅調な受注環境。コンシューマーゲームでの受注拡大と、VRなど新たな市場でも活発な取り組みを推進 																															
<p>成長戦略 トピックス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融・流通領域の売上成長が加速 <ul style="list-style-type: none"> □ 通期、金融・流通領域における平均顧客月額売上は全社平均2倍以上となり成長全体を牽引 □ ハイスキル人材の参画などにより事業会社との直接取引規模が大きく拡大 □ グループ会社の順調な成長と新たな参画により、開発工程の上流から下流にわたり、サービスポートフォリオが充足 																															
<p>FY2017 通期業績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上期に大きく先行投資したハイスキル人材の立ち上がりが進み、エンタープライズ領域を中心に成長し投資回収ステージへ移行。利益管理体制と経営管理手法の強化により、業績の成長加速に大きく寄与し始める 																															

1. 決算概要

通期連結業績予想に関して、営業利益、経常利益、当期純利益を
上方修正

■修正理由

- 売上高は、堅調な受注環境を受け、また新規顧客開拓活動も概ね想定通りに進み、ほぼ計画通りの着地
- 人材への積極的な投資は継続しつつも、下期から注力しているコスト管理体制の強化によりコスト削減が進む
- グループ経営推進により子会社の収益性が改善したことなどより、営業利益、経常利益、当期純利益が業績予想を上回る結果となった

通期 連結業績 予想	(単位:百万円)					1株当たり 当期純利益
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益		
前回発表予想(A)	8,100	230	280	120	8 円 33 銭	
実績値(B)	8,174	391	440	208	14 円 49 銭	
増減額(B-A)	74	161	160	88	-	
増減率(%)	0.9	70.2	57.4	73.9	-	

1. 決算概要

通期戦略とした人材獲得へ向けた投資により利益率は前年比で低下したものの、4Qからの収益改善により堅調な成長が見え始める

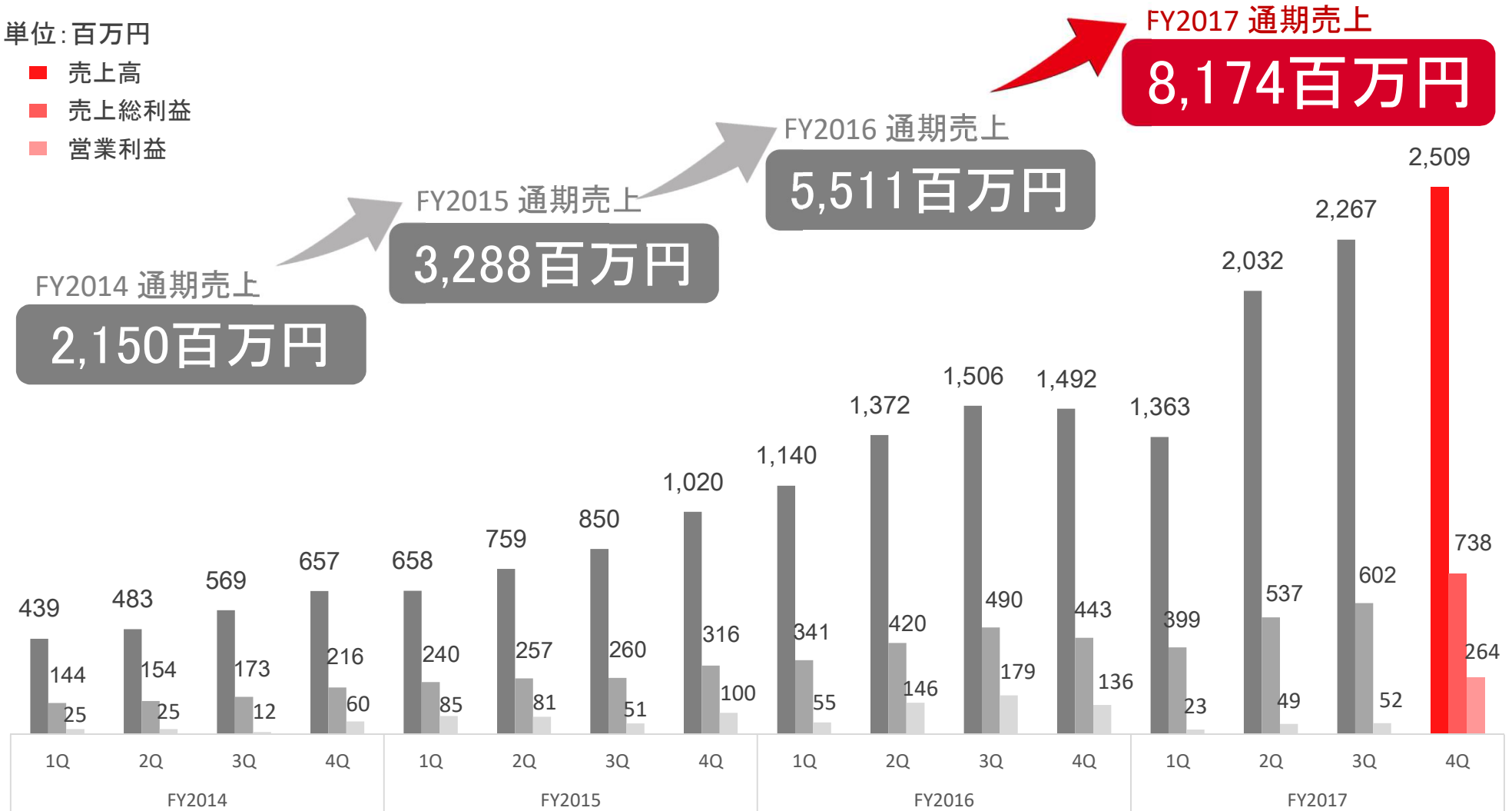
単位：百万円	会計期間			累計期間		
	FY2017 4Q	FY2016 4Q	前年同期比	FY2017 1Q~4Q	FY2016 1Q~4Q	前年同期比
売上高	2,509	1,492	68.1%	8,174	5,511	48.3%
売上総利益	738	443	66.8%	2,279	1,695	34.5%
売上総利益率	29.4%	29.7%	△0.3pt	27.9%	30.8%	△2.9pt
販管費	474	306	54.5%	1,887	1,177	60.3%
営業利益	264	136	94.3%	391	517	△24.4%
営業利益率	10.5%	9.1%	1.4pt	4.8%	9.4%	△4.6pt
経常利益	272	184	47.3%	440	569	△22.6%
税前利益	272	185	47.3%	441	549	△19.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	153	86	77.7%	208	307	△32.2%

1. 決算概要

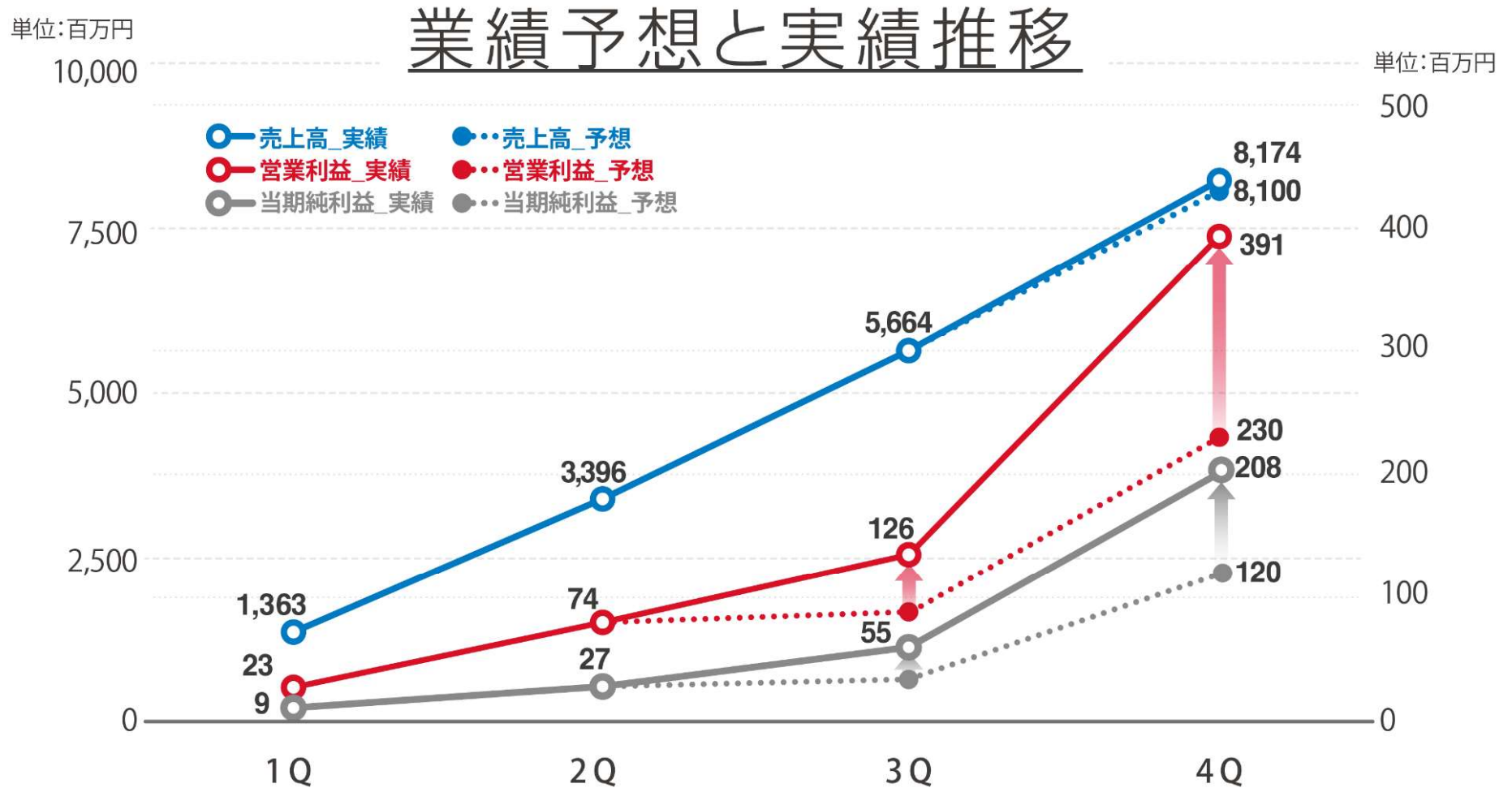
四半期売上高、売上総利益、営業利益ともに過去最高値を達成

単位:百万円

- 売上高
- 売上総利益
- 営業利益

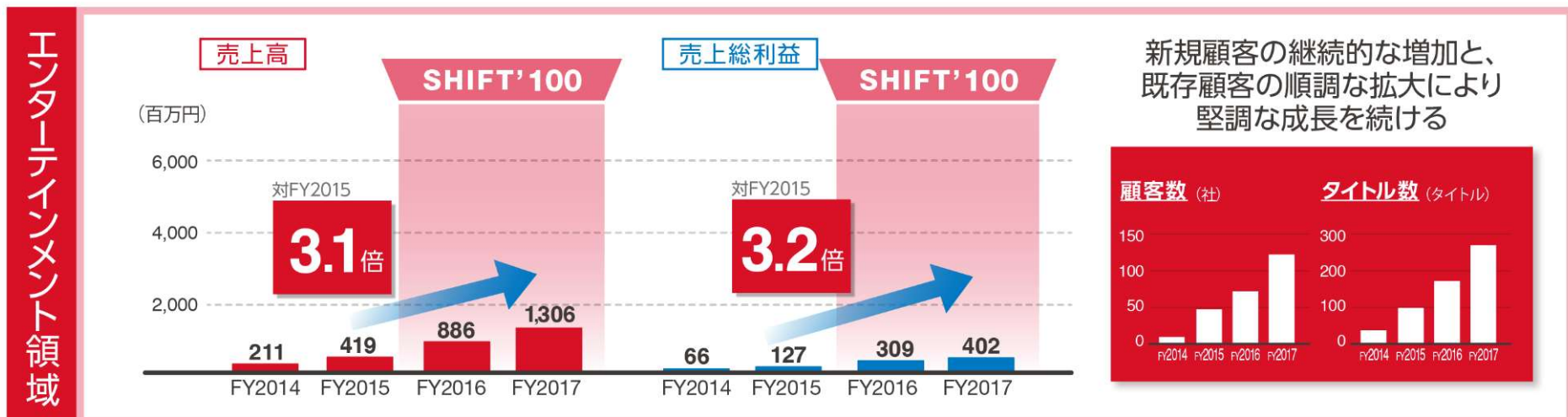
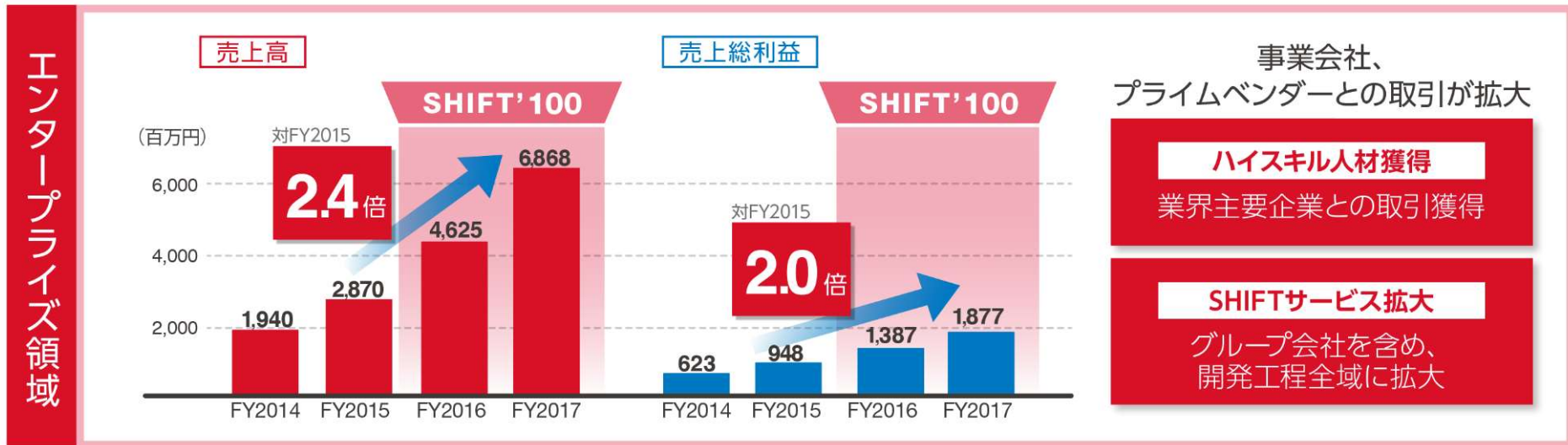


上期の思い切った先行投資が、下期の企業成長に大きく貢献



1. 決算概要

エンタープライズ、エンターテインメントともに売上高、売上総利益額の過去最高値を更新



1. 決算概要

販管費の推移

引き続き、戦略的投資の大部分は人材採用。ハイスキル人材が順調に増加

単位：百万円	会計期間			累計期間			備考
	FY2017 4Q	FY2016 4Q	前年 同期比	FY2017 1Q~4Q	FY2016 1Q~4Q	前年 同期比	
人件費	277	191	45.1%	1,032	646	59.7%	採用人員の増加により、入社時研修 (SGA負担)工数の増加 営業力強化のための営業系人員の増加
対売上高比	11.1%	12.8%	△1.7pt	12.6%	11.7%	0.9pt	
採用費	62	42	45.6%	313	195	60.3%	採用人員の増加
対売上高比	2.5%	2.9%	△0.4pt	3.8%	3.5%	0.3pt	
地代家賃	24	12	97.6%	82	38	112.9%	連結子会社の増加
対売上高比	1.0%	0.8%	0.2pt	1.0%	0.7%	0.3pt	
支払報酬	15	15	△0.9%	88	76	15.5%	
対売上高比	0.6%	1.1%	△0.5pt	1.1%	1.4%	△0.3pt	
のれん償却費	20	5	282.9%	68	14	372.0%	バリストライドグループ買収による増加
対売上高比	0.8%	0.4%	0.4pt	0.8%	0.3%	0.5pt	
減価償却費	6	7	△16.5%	22	18	23.2%	
対売上高比	0.3%	0.5%	△0.2pt	0.3%	0.3%	0.0pt	
その他	67	31	113.4%	279	187	49.4%	M&A、業容拡大による
対売上高比	2.7%	2.1%	0.6pt	3.4%	3.4%	0.0pt	
合計	474	306	54.5%	1,887	1,177	60.3%	
対売上高比	18.8%	20.6%	△1.8pt	23.1%	21.4%	1.7pt	

1. 決算概要

エンジニア数の推移

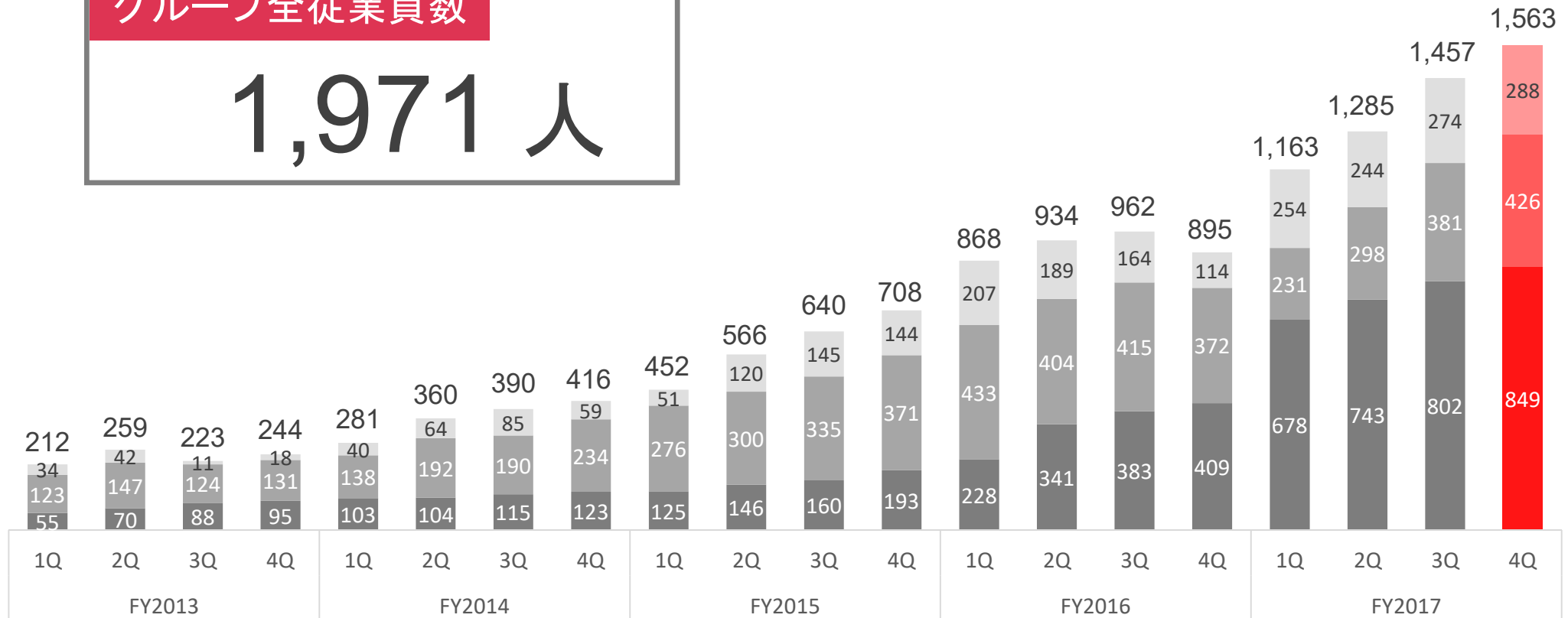
プロジェクトマネージャー・コンサルタント人材などの正社員採用が進む

■ パートナー ■ エンジニア_有期雇用 ■ エンジニア_正社員

単位:人

グループ全従業員数

1,971 人



- ・ 末日時点での雇用契約が有効な人員数
- ・ 登録型アルバイトの人員は含まれておりません
- ・ バックオフィスの人員は含まれておりません

1. 決算概要

成長加速のため、借入により財務レバレッジを効かせる

単位：百万円	FY2017 4Q	FY2016 4Q	前年同期比	FY2017 3Q	直前四半期比	備考
流動資産	3,405	2,681	27.0%	3,110	9.5%	
うち現金及び預金	1,977	1,635	20.9%	1,765	12.0%	
有形固定資産	239	186	28.2%	252	△5.3%	
無形固定資産	857	320	168.1%	878	△2.3%	
投資その他	827	175	372.4%	839	△1.4%	
総資産	5,330	3,363	58.5%	5,080	4.9%	
流動負債	1,501	999	50.3%	1,345	11.6%	
固定負債	1,711	535	219.5%	1,783	△4.0%	14億の借入を実行
自己資本	1,924	1,739	10.6%	1,770	8.7%	自己資本比率36%
新株予約権	2	1	41.1%	3	△17.1%	
非支配株主持分	191	86	120.2%	178	6.9%	子会社の業績好調による

2. FY2018業績目標

2. FY2018業績目標

FY2018アクション

[SHIFT' 100]を超え、[SHIFT' 300]への挑戦を開始

FY2018通期
財務目標

売上高

120 億円
対前年比 47% 増

営業利益

8 億円
対前年比 104% 増

営業利益率

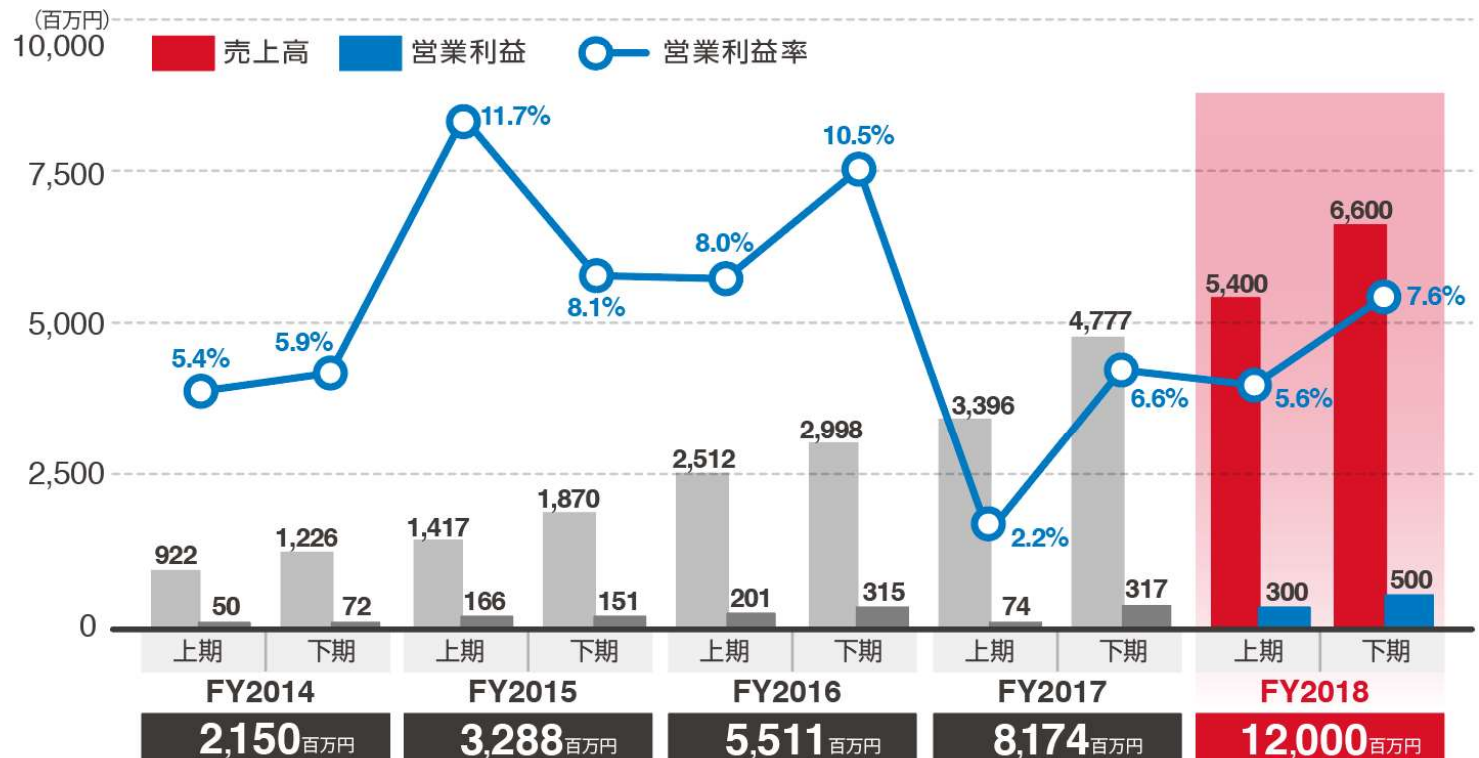
6.7 %
対前年比 1.9pt 増

上期

- ・エンタープライズ領域を中心とした、各社のさらなる存在感向上により引き続き、売上高の大幅な成長を計画
- ・引き続き、人材採用などへの戦略的投資を続けながら収益改善を促進

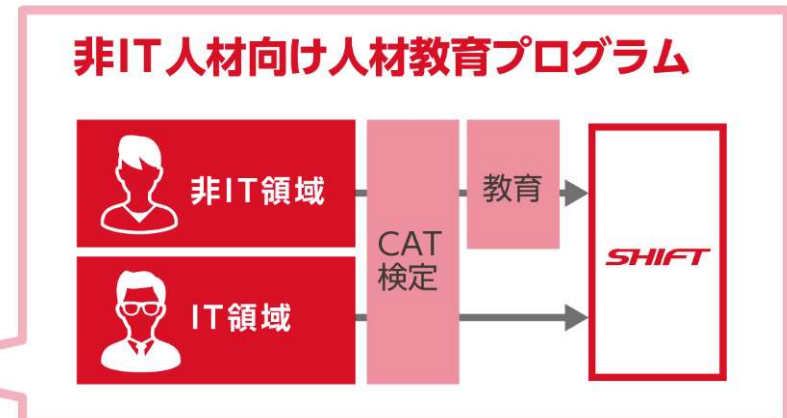
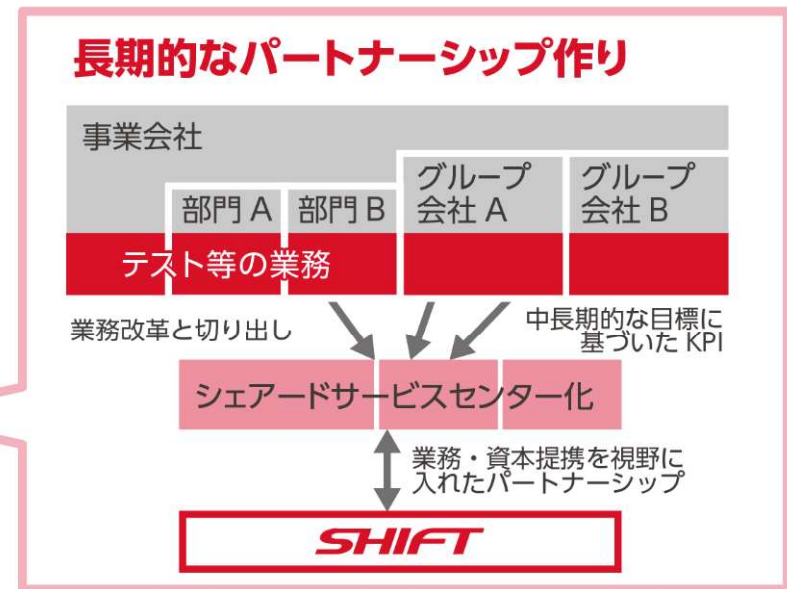
下期

- ・大型顧客の受注を狙い、売上高の大幅な飛躍を計画
- ・売上高の拡大や、収益改善の取り組みを開花させ、利益率の向上を計画



[SHIFT' 100]を超え、[SHIFT' 300]への挑戦を開始

DB: データベース



3. 成長戦略の進捗

以下について報告

- ① 単体の今期成果
- ② 子会社の今期成果
- ③ [SHIFT'100] 2年間の振り返り

3. 成長戦略の進捗

【単体の今期成果】SHIFT単体において注力領域である金融・流通業界の売上高が堅調に伸び始め、全体の成長を牽引

採用

国内主要企業で活躍していたトッププレイヤーがSHIFTに参画



- ・国内大手総合研究所
 - ・外資系大手プライムベンダー
 - ・国内大手プライムベンダー
- 等

⇒ 戦力強化

注力領域 (金融・流通)

金融・流通領域での平均顧客月額売上がSHIFT平均の2倍以上に

4Qにおける金融・流通領域での売上シェアが32.3%に

SHIFT平均
2倍以上

- ・SHIFT平均:399万円
- ・流通:895万円
- ・金融:852万円

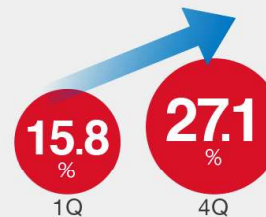


- ・1Q:18.2%
- ・2Q:23.8%
- ・3Q:30.8%
- ・4Q:**32.3%**

⇒ 業界特化

顧客

売上高に占める事業会社の売上割合が拡大



事業会社売上比率

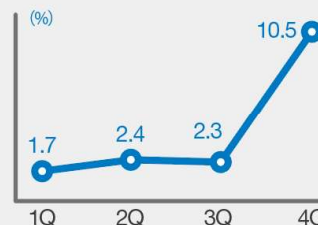
- ・大手金融企業
 - ・大手流通／小売企業
- 等

⇒ 業界主要企業との連携強化

経営管理

経営管理手法の強化を推進

FY2017営業利益率推移

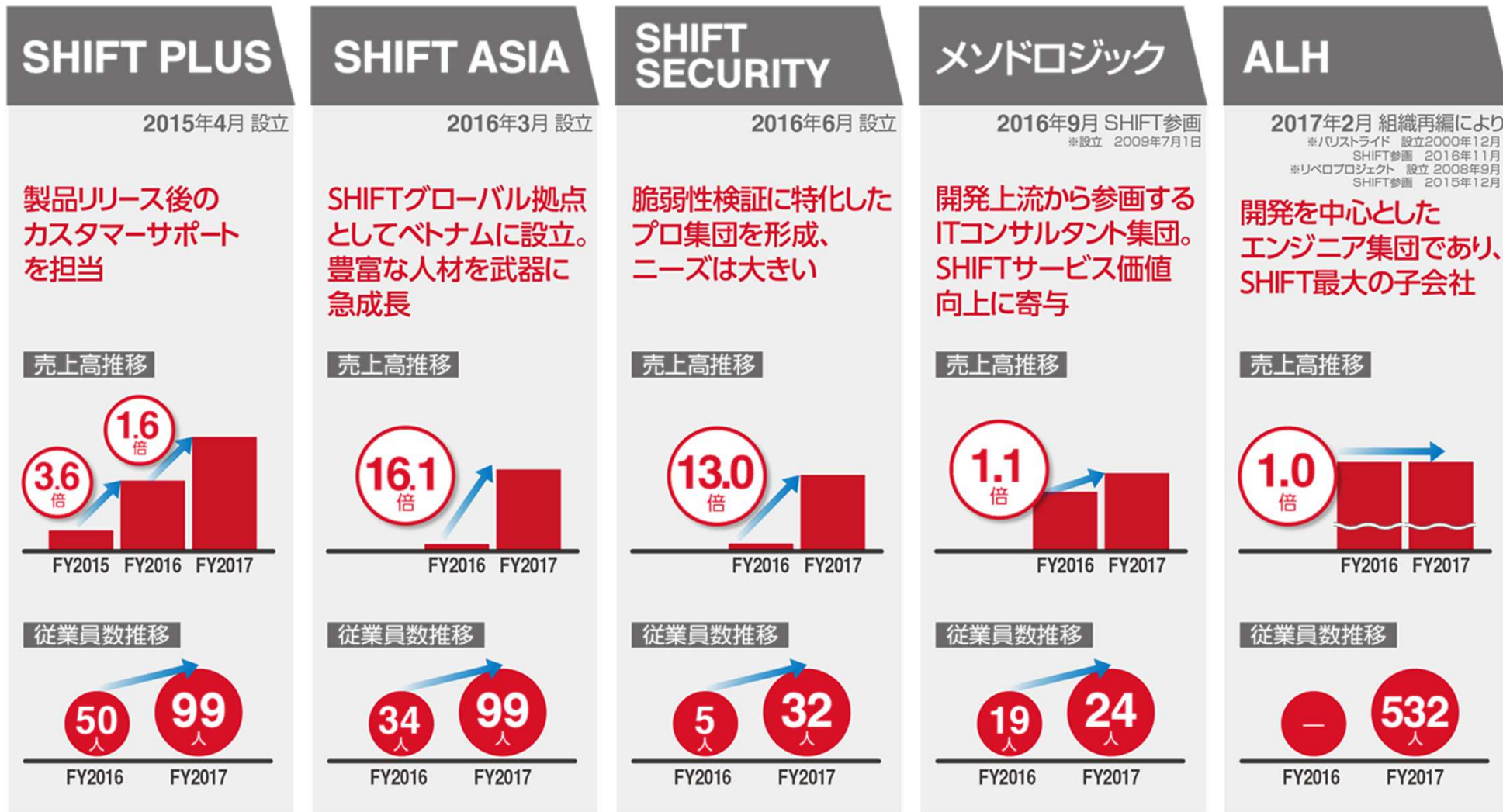


営業利益率が4Qに向け改善

⇒ 収益力強化

【子会社の今期成果】

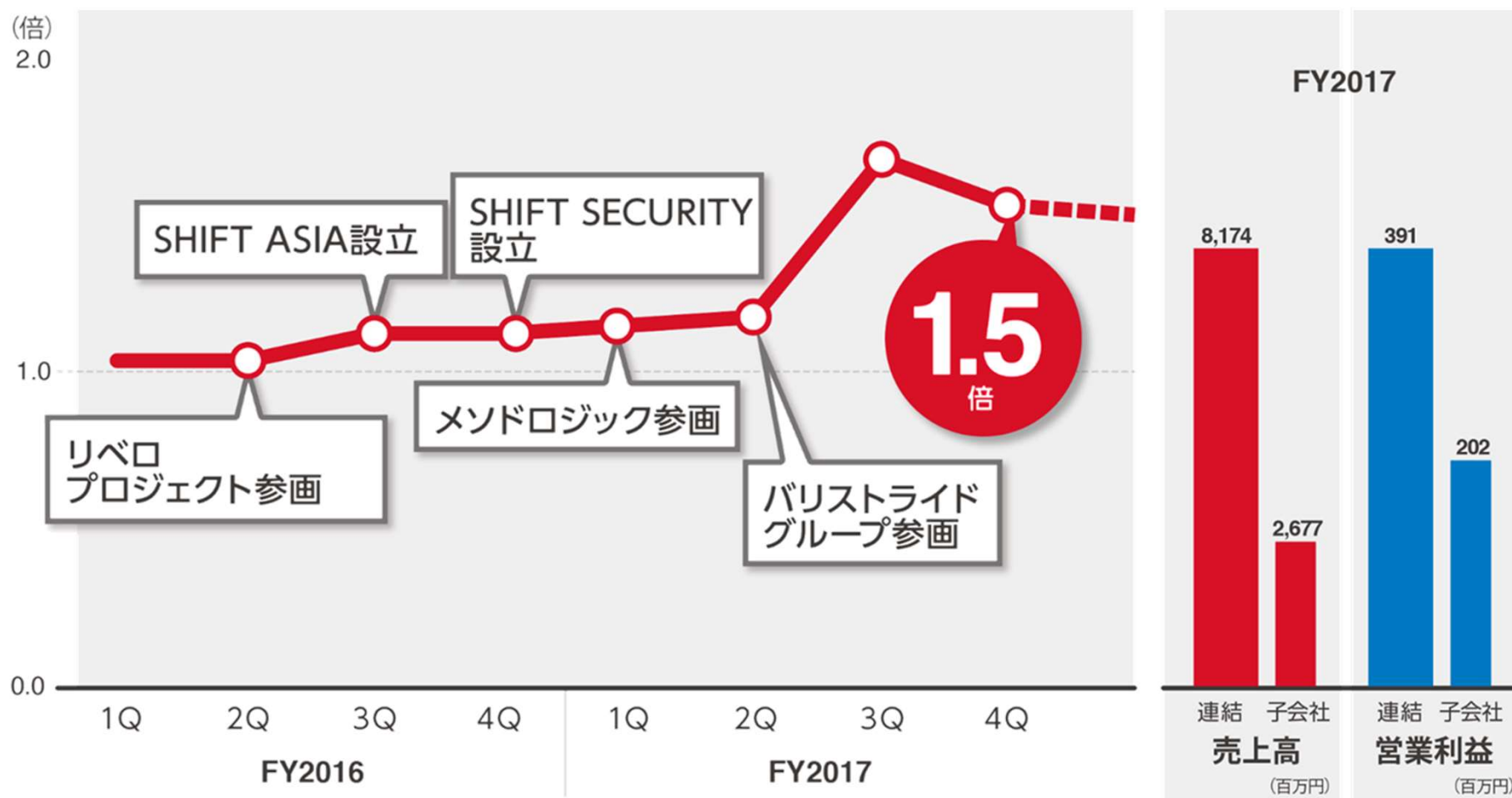
順調な拡大成長、連結の利益の押し上げにも寄与



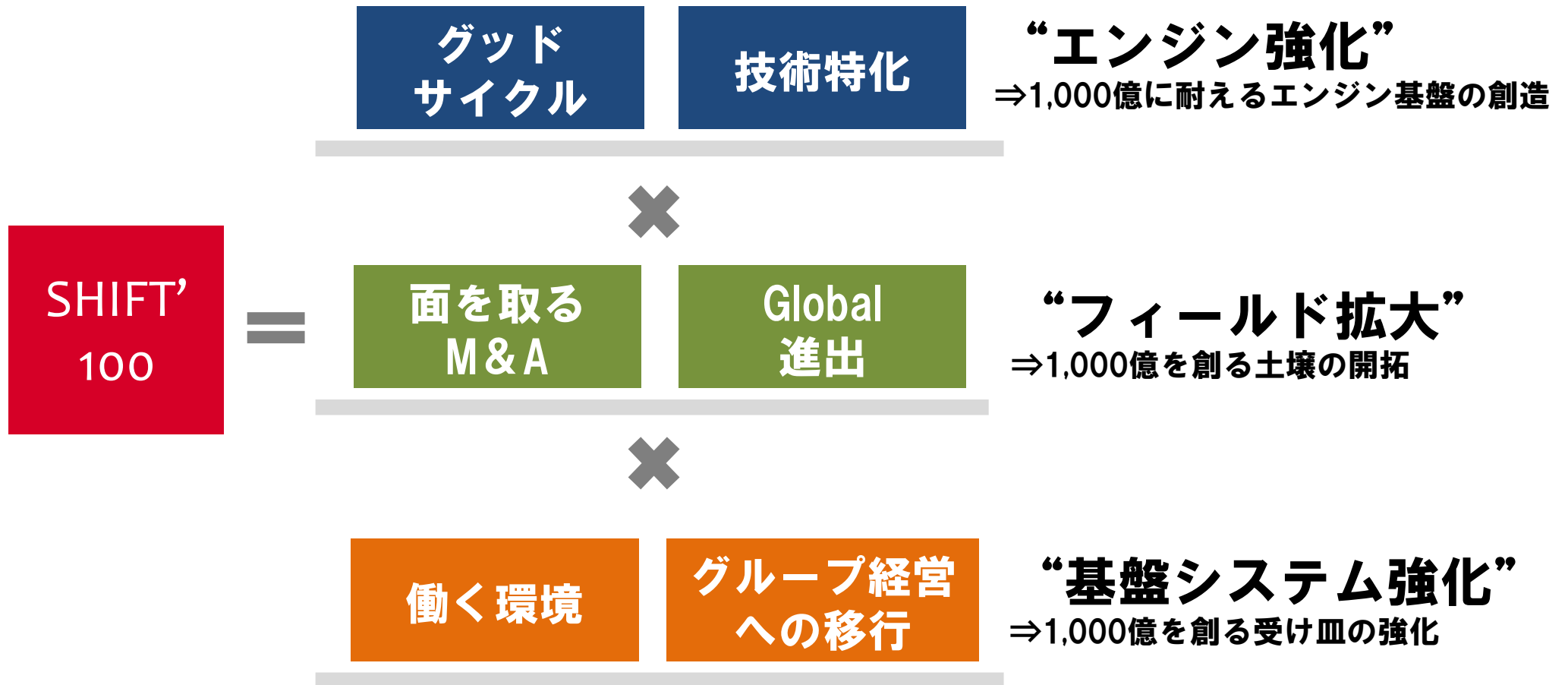
3. 成長戦略の進捗

子会社の成長と新たな参画がSHIFTグループの成長に大きく貢献
グループ全体の成長を目指し、さらに強固な組織を構成

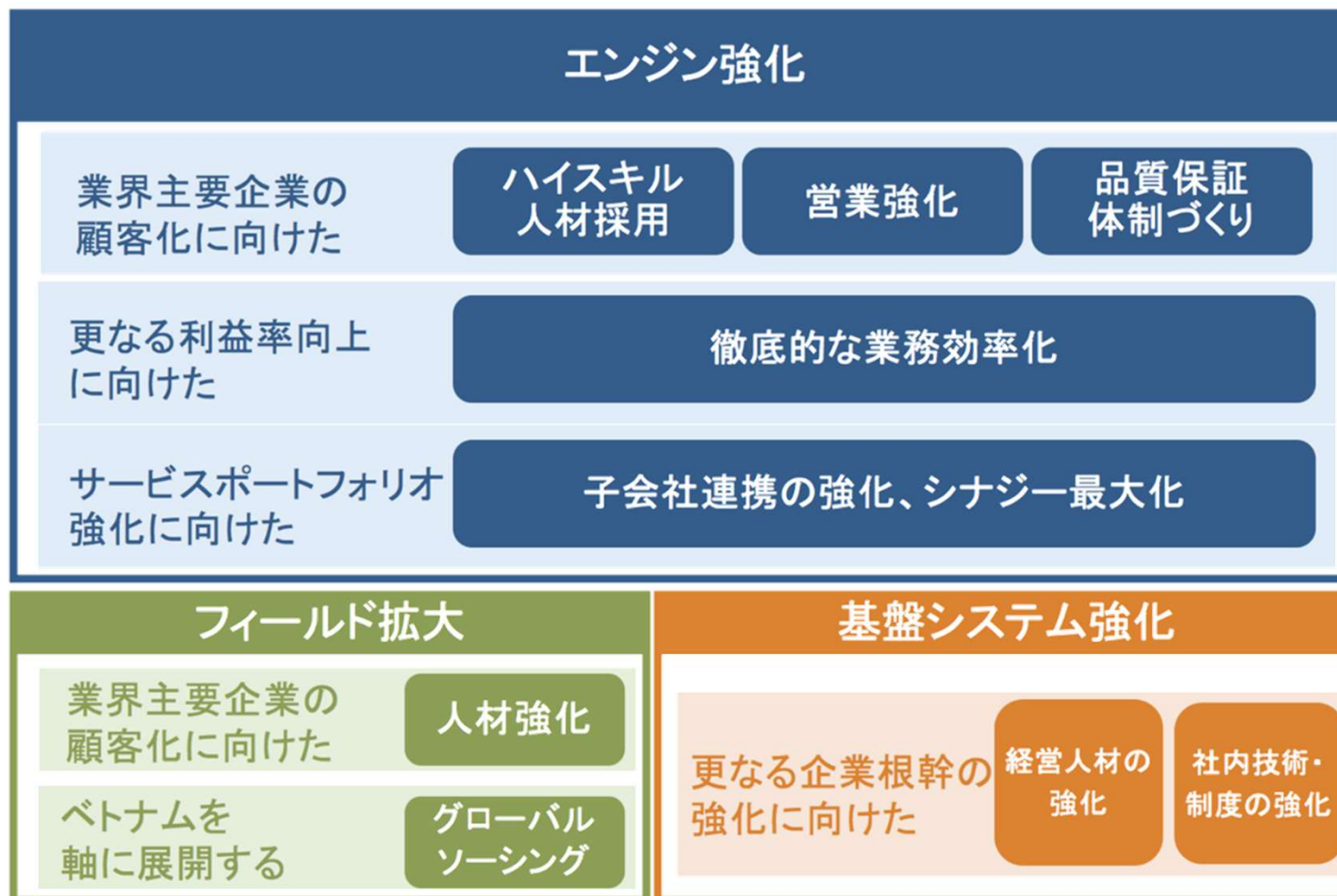
SHIFTグループ売上高における連単倍率推移



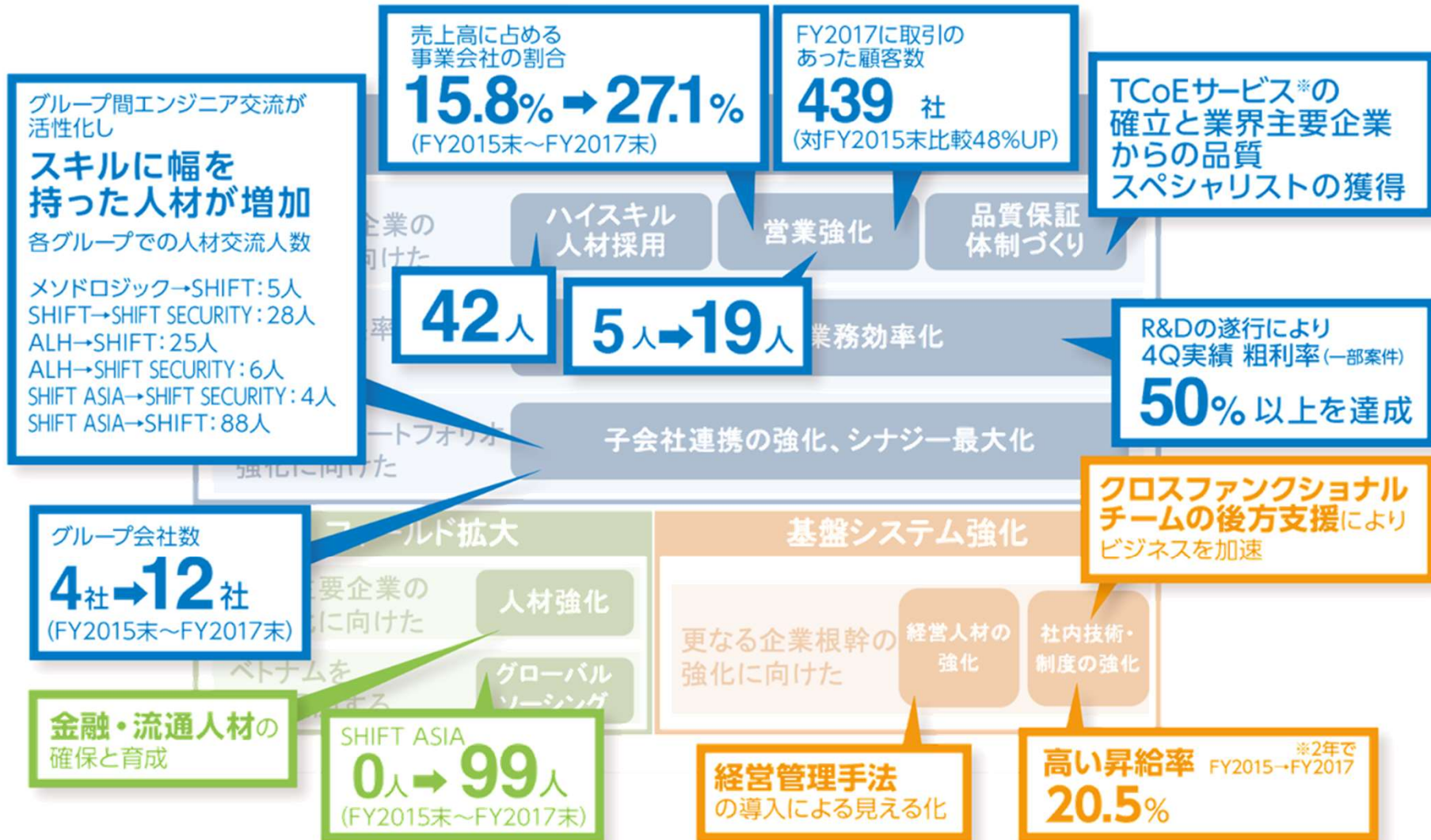
[SHIFT' 100]の2年目も順調に推移



[SHIFT' 100]の2年目も順調に推移



[SHIFT'100]の2年間の振り返り



(※) TCoEサービス: 複数プロジェクトにまたがるテスト工程を1つのテストチームに集約し、テスト工程の効率化、品質標準の確立、ナレッジの蓄積を行うフルマネジメント型サービス

4. 中期計画

より良い社会の実現を目指し、さらなる新しい価値の創造を追求

企業理念

「新しい価値の概念を追求し、誠実に世の中に価値を提供する」

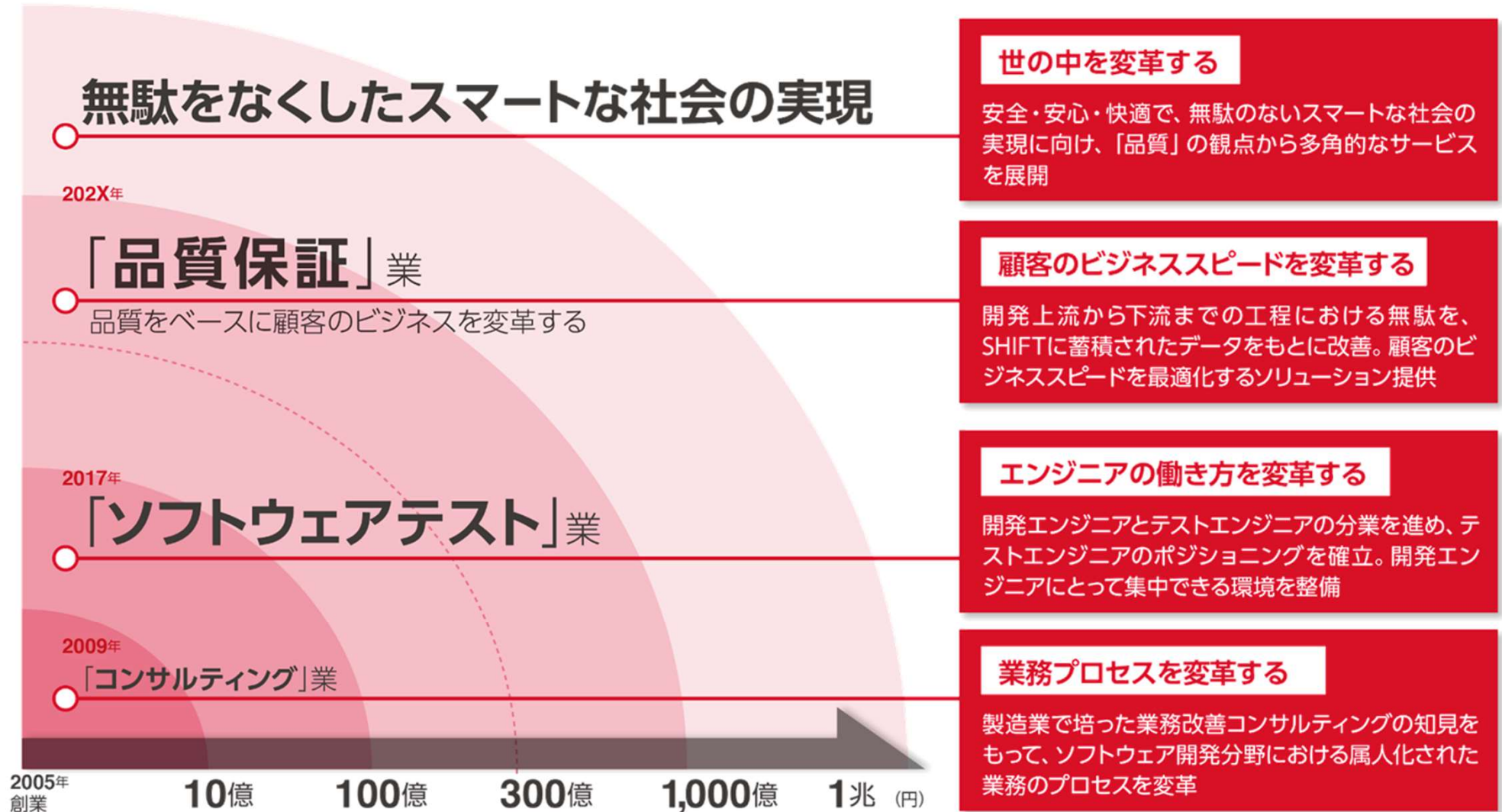


「無駄をなくしたスマートな社会の実現」

4. 中期計画

SHIFTの目指す姿

「無駄をなくしたスマートな社会の実現」に向けて、常に自己変革に挑戦し続ける企業を目指す

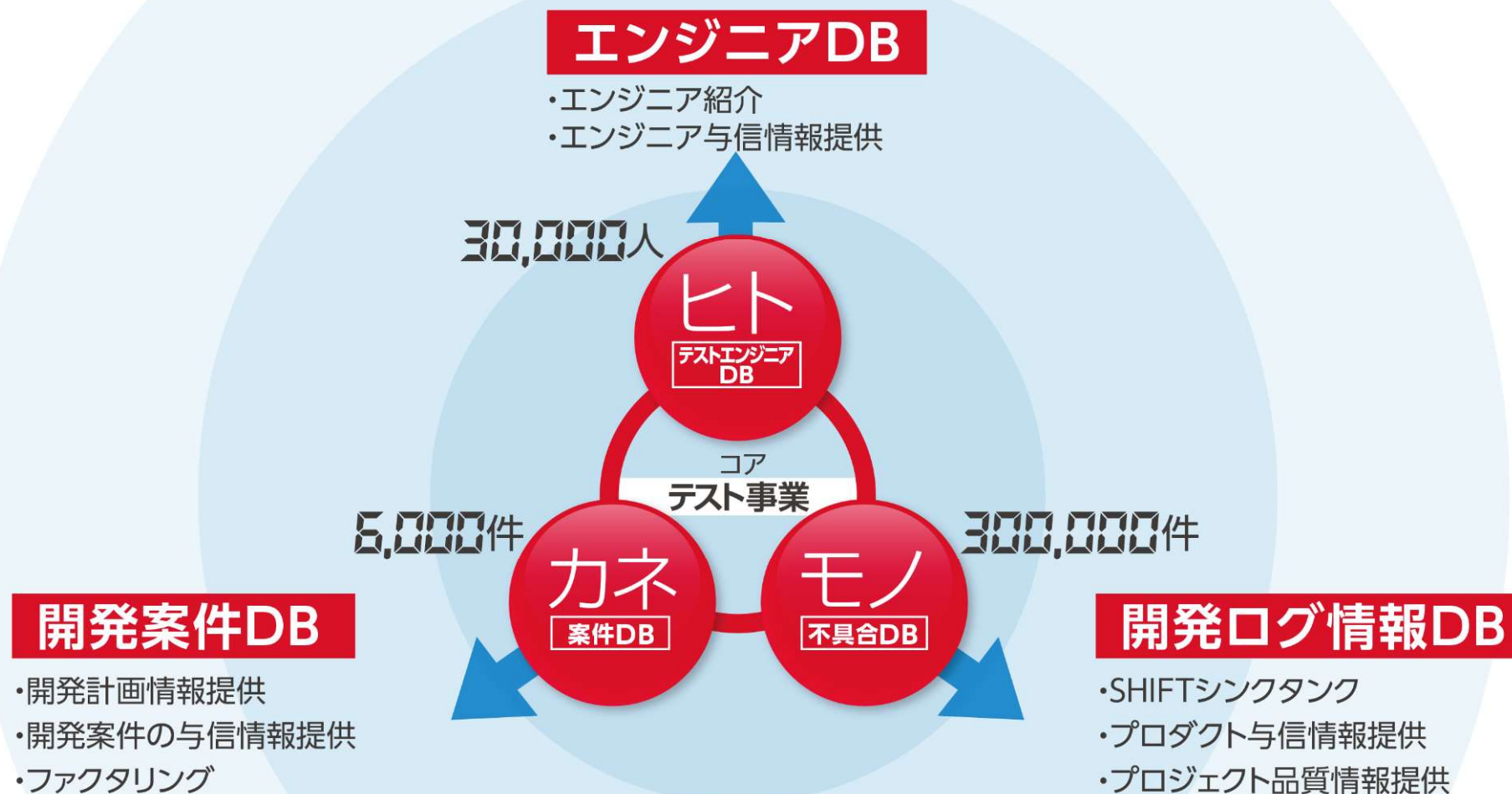


4. 中期計画

SHIFT1,000億に向けて

SHIFTプラットフォームの構築。品質に関わる「人」「物」「お金」の情報を蓄積し、IT業界に向けた新たな価値の創造へ

DB: データベース



4. 中期計画

SHIFT'300

売上高1,000億円に向け、成長をさらに加速させるギアチェンジとしての新たなマイルストーンを売上高300億円とする

1,000億へ向けたギアチェンジ

SHIFT'300

1,000億へ向けた要素づくり

SHIFT'100

“エンジン強化”

1,000億円に耐えるエンジン基盤の創造

×

“フィールド拡大”

1,000億円を創る土壌の開拓

×

“基盤システム強化”

1,000億円を創る受け皿の強化

モノ “サービス強化”

ソフトウェアテストを超えた品質保証サービスへ

“新価値創造”

新たな成長ドライバーの創造
SHIFTシンクタンクの創設

×

カネ “アカウント強化”

業界のNo1の
ポジションニング

×

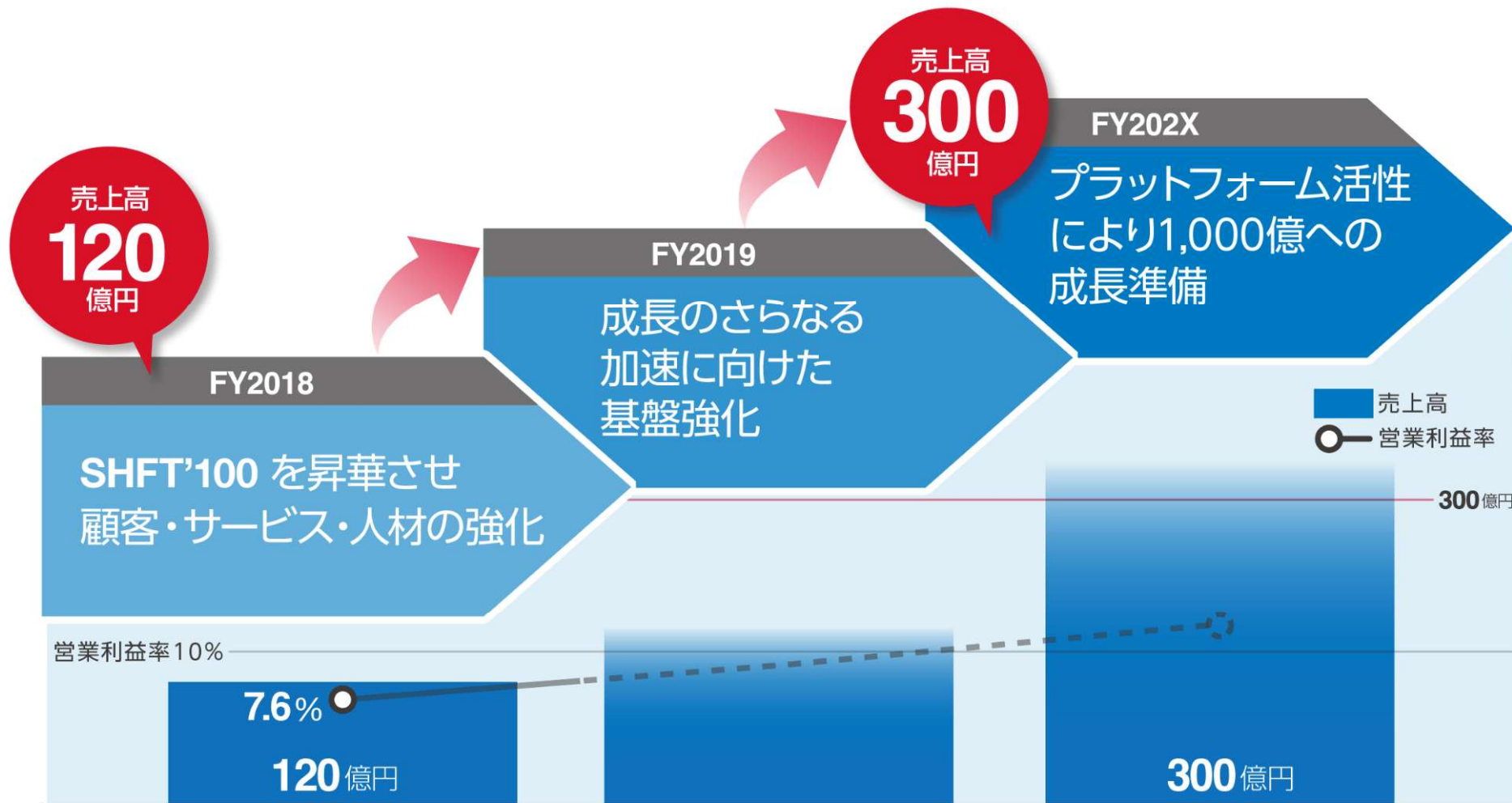
ヒト “人材強化”

人材プラットフォーム
企業へ

4. 中期計画

SHIFT'300

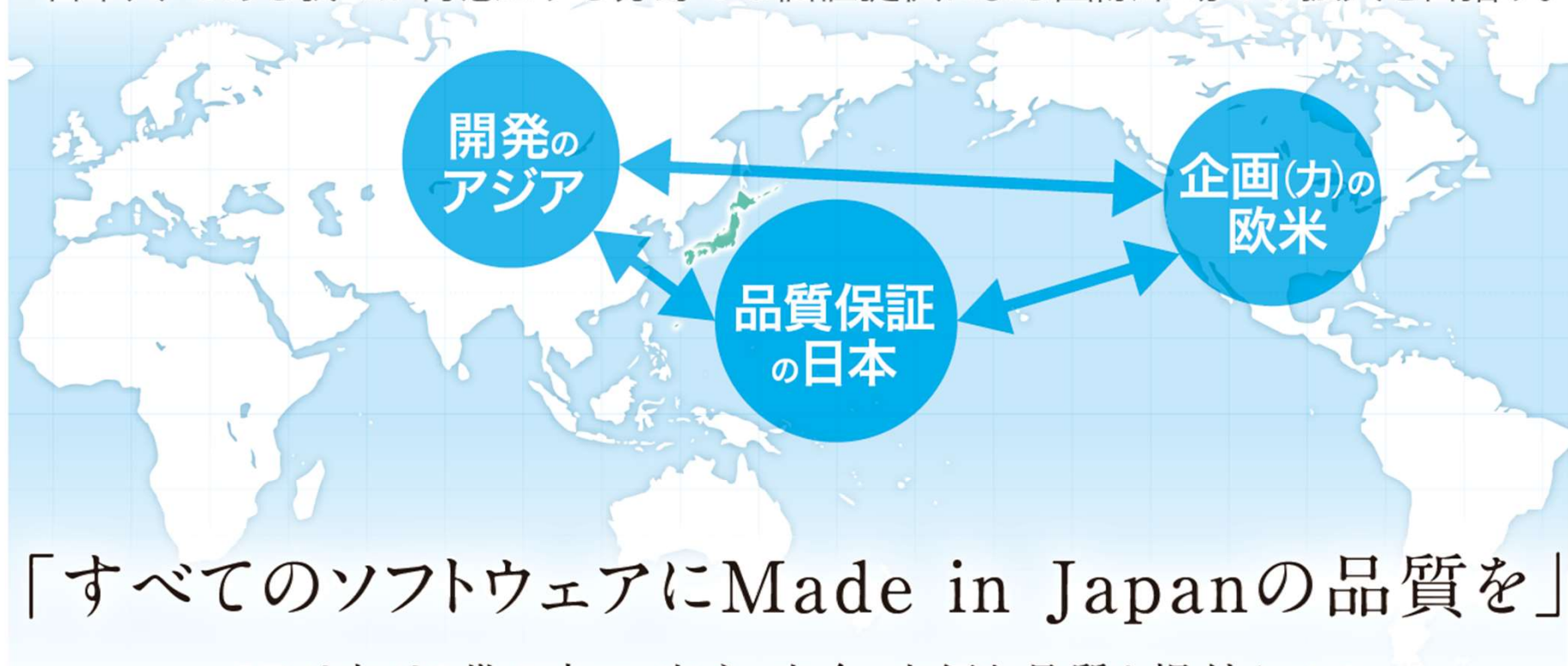
売上高1,000億円の実現に向け、さらなる成長スピード向上と収益力の向上



この産業が日本発、世界へ行く為に

グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT

<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ

ir_info@shiftinc.jp